

問1 日光が当たっていない葉や、日光に当てる前の葉における、でんぷんのようなすについて正しいものはどれですか。

1. でんぷんが日光に当たった葉よりも多く生じている。 2. でんぷんが少しだけ生じている。 3. でんぷんが日光に当たった葉と同じくらい生じている。 4. でんぷんは生じていない。

問2 植物が根から取り入れている、生きるために必要なほとんどのものは何ですか。

1. 水 2. 日光 3. 空気 4. 土

問3 たたきぞめを行うとき、葉の液をろ紙にうつしとった後、でんぷんがあるかを調べるために使う液は何ですか。

1. 水 2. 石灰水 3. ヨウ素液 4. アルコール

問4 植物が、生きるために必要なほとんどの水を取り入れる部分はどこですか。

1. 茎 2. 根 3. 花 4. 葉

問5 ヨウ素液をでんぷんにつけたとき、液の色はどのように変化しますか。

1. 黄色に変わる 2. 赤色に変わる 3. 白くにごる 4. 青むらさき色に変わる

問6 葉のうら側のあなから、植物のからだの外に出ていくものは何ですか。

1. 土のつぶ 2. デンプン 3. 水蒸気 4. 肥料

問7 葉にでんぷんができているかを調べる実験で、ヨウ素液による色の変化を見やすくするために、葉の緑色をぬくときに使う液体は何ですか。

1. ヨウ素液 2. エタノール 3. 食塩水 4. 石灰水

問8 植物の葉につくられる「でんぷん」は、植物にとってどのような役割がありますか。

1. 植物が成長するための養分になる。 2. 植物の体を冷やす役割がある。 3. 根から水を吸い上げるのを助ける。 4. 葉の緑色を濃くする役割がある。

問9 植物の葉にある「気こう」の性質について、正しく説明しているものはどれですか。

1. 根の先端に一番多く集まっている。 2. 光を浴びるとデンプンをつくる。 3. 赤色や青色の絵の具を吸い上げる。 4. 葉の表側よりも、裏側に多くある。

問10 葉のうら側にたくさんあり、水蒸気が出ていくための小さなあなのことを何といいますか。

1. 葉のうら側のあな 2. 葉のすじ 3. 茎のくだ 4. 根の毛

問11 植物の体の中にある「水の通り道」は、植物のどの部分にありますか。

1. くきと葉だけで、根にはない 2. 根とくきだけで、葉にはない 3. 根、くき、葉 4. 花と実だけで、根やくきにはない

問12 植物の葉に日光が当たるとつくられる、植物の成長に必要な栄養分は何ですか。

1. 水 2. でんぷん 3. 二酸化炭素 4. 酸素

問13 葉のでんぷんを調べる実験の最初に、お湯で葉を煮るのは何のためですか。

1. 葉のでんぷんを増やすため 2. 葉の色を濃くするため 3. 葉をかたくするため 4. 葉をやわらかくするため

問14 植物がたえず行っている、酸素を取り入れて二酸化炭素を出すはたらきと、日光が当たるときに二酸化炭素を吸収して酸素を出すはたらきをまとめて何といいますか。

1. 植物の養分づくり 2. 植物の気体交換 3. 植物の水の吸い上げ 4. 植物の水の通り道

問15 葉のでんぷんを調べる実験で、葉をあたためたエタノールに入れるのはなぜですか。

1. 葉をやわらかくして、ヨウ素液がしみこみやすくするため。 2. 葉を青紫色に染めて、でんぷんがある場所をわかりやすくするため。 3. 葉の緑色をぬいて、ヨウ素液による色の変化を見やすくするため。 4. 葉の表面のあなをふさいで、でんぷんが外に逃げないようにするため。